

どんなときも、自分らしく！

見て！ 触れて！

試して！

第23回 高知ふくし機器展

バリアフリー フェスティバル

入場無料

この機器展の運営は、協賛、Tシャツ
等グッズの販売、寄付による資金等
でまかなっております。

来場してくださった皆さんにとって
本当に必要なものを見つけることができるように、
メーカー別ではなく、
機器・用具の種類毎に分けて展示しています！
1人ひとりに合った、
可能性を拡げる機器や用具と一緒に探していきましょう。
支援者の皆さん。
これからの高知のケアや
「その人らしく」を支える支援を
一緒に考えていきましょう！
皆さんの来場、お待ちしております。



令和8年

1/23^金

10時～17時

1/24^土

10時～16時

会場：高知県立ふくし交流プラザ
(高知市朝倉戊375-1)

高知ふくし機器展実行委員会事務局 社会福祉法人高知県社会福祉協議会

TEL 088-844-9271

FAX 088-844-9411

〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 E-mail: kaigohukyu@pippikochi.or.jp



主催：高知ふくし機器展実行委員会・社会福祉法人高知県社会福祉協議会 協力：一般社団法人ナチュラルハートフルケアネットワーク

後援：高知県、高知市、高知県教育委員会、高知市教育委員会、高知医療学院、高知県立大学、高知大学、高知学園大学・高知学園短期大学、高知県立幡多看護専門学校、四国医療工科大学、学校法人日翔学園高知開成専門学校、高知福祉専門学校、高知リハビリテーション専門職大学、高知健康科学大学・土佐リハビリテーションカレッジ、平成福祉専門学校、学校法人龍馬学園 龍馬看護ふくし専門学校、近森病院附属看護学校、高知県栄養士会、高知県医師会、高知県医療ソーシャルワーカー協会、高知県介護福祉士会、高知県介護支援専門員連絡協議会、高知県看護協会、高知県眼科医会、高知県言語聴覚士会、高知県作業療法士会、高知県歯科医師会、高知県歯科衛生士会、高知県視覚障害者協会、高知県肢体障害者協会、高知県社会福祉士会、高知県精神保健福祉士協会、高知県聴覚障害者協会、高知県保育士会、高知県ホームヘルパー連絡協議会、高知県理学療法士協会、公益社団法人高知県薬剤師会、高知県リハビリテーション研究会、公益財団法人高知県身体障害者連合会、高知県視力障害者の生活と権利を守る会、バクバクの会～人工呼吸器とともに生きる～、高知新聞社・RKC高知放送、NHK高知放送局、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ、KCB高知ケーブルテレビ、株式会社エフエム高知、高知シティエフエムラジオ放送局、朝日新聞高知総局、日本経済新聞社高知支局、毎日新聞高知支局、読売新聞大阪本社高知支局、共同通信社高知支局、時事通信社高知支局、産経新聞松山支局、一般社団法人日本福祉用具供給協会 四国ブロック、高知中央高等学校

どんなときも、自分らしく！見て！触れて！試して！

私たちは『誰もが生活を快適で、豊かにできる福祉機器を幅広く知っていただくこと・どこに住んでいても、どんな状態であっても自分らしく生活できる高知県にすること』を目的に、2002年5月に第1回の高知福祉機器展を開催し、多くの方々のご協力により今年で23回目を迎えることとなりました。

高知ふくし機器展では、機器の展示だけに終わらず、メーカー様・ディーラー様と共に実行委員会スタッフ（県内外の医療・福祉・教育現場で働くスタッフや当事者等）が連携し、ご来場者のニーズを見だし、解決につなぎ、生活に還元できるような関わりを意識しております。

スタッフ約100人！「自分らしく」を応援します！

どんなときも、自分らしく！

見て！触れて！

試して！



ブース紹介

●ご案内係（なんでも相談）

自分らしく暮らすことについて、困りごとはありませんか？相談いただいた内容に応じて、各ブースへご案内します。またすぐに解決できないことは、必要に応じて関係機関へお繋ぎします。お気軽にお越しください。

●住まいのブース

手すり・スロープ・段差解消機・入浴用リフト・シャワーチェア・シャワーキャリー・浴槽台など「工夫したらすいぶん楽になったよ！」そんな声のために！住まいを暮らしやすくする用具、工夫をスタッフが一緒に考えていきます。

●おしりまわりブース

おむつ各種・ポータブルトイレ・排泄用具・ストーマ関連用具・スキンケア用品・衣類などその人らしい生活を支えるため、排泄ケア全般を一緒に考えるお手伝いをさせていただきます。

●福祉車両ブース

リフト車・回転シート車・スローパー車・福祉車両改造パーツなど様々な使いやすさ配慮された車の体験、使用や購入に関するご相談等をお受けしております。

●車いす・靴ブース

車いす各種・クッション・歩行器・杖・靴など座る姿勢は日常生活の様々な場面に影響します。また、歩行補助具などの選択、調節もとても重要です。使う方に合わせて調節出来る車いすや歩行補助具などが体験出来ます。自分らしく健康的に座り、歩くことを一緒に考えます。

●ノーリフト＆ポジショニングブース

ベッド、マット、移乗用具、リフト、ポジショニングクビローなど「引きずらない、持ち上げない、抱え上げない」ノーリフティングと快適な眠りをぜひ、体験してみませんか？また、業務効率のために、様々な機器やロボットも展示しています。人手が足りない状況をノーリフティングケアとロボット・ICTを使用して解決できることを一緒に考えます。

●防災ブース

防災お役立ちグッズ、防災時に役立つ福祉機器など南海トラフ大地震…あなたは備えていますか？今見ておく、知っておく、考えておくだけで、その時の対応は必ず変わります。防災関連の福祉機器展示、日常生活用品を使った防災知識、震災後を生き抜く術を提案させていただきます。一緒に考え、備え、自分のいのち、みんなのいのちを守りましょう。

●視覚ブース

音声付き便利グッズ、拡大グッズなど「見えない、見えづらい」をサポートする用具を展示しています。「すべての人を図書の世界へ」オーテピア図書館によるバリアフリー図書の紹介もあります。

●聴覚ブース

補聴器、日常生活用品など見た目で「きこえない、きこえにくい」ことが周りに分かりません。社会の中で感じる『生活にくさ、生きづらさ』は、機器や周りの人の配慮でグーンと変わります。日常生活をサポートする機器を使ってみませんか。

●キッズ姿勢ブース

車いす、バギー、クッションなど子どもたちの生活場面に合わせて、選び方・使い方・使うことによる効果、また子どもから大人への成長段階に合わせた福祉用具を紹介します！

●キッズ発達ブース

遊びを通して子どもさんのからだの使い方や感覚などのご相談を受けたり、それらに関する機器の体験やご紹介をさせていただきます。

●コミュニケーションブース

人の「心と心」を繋ぐコミュニケーション支援機器、機器入力スイッチ、発達支援のグッズなど紙一枚でできる簡便なものから、ハイテクノロジー技術を使ったコミュニケーション機器まで幅広く展示しております。ぜひ実際に手に取り体感してみてください。

●自助具ブース

箸、スプーン、食器、調理用具や文具など「自分でできる、やりやすくなる！」食べる、調理する、着替えるなど、生活のあれこれを補助する小さな福祉用具を集めています。

●栄養・口腔ブース

介護食、配食サービス、栄養補助食品、とろみ調理剤、おうちの味をそのままの調理器具、保湿剤、呼吸訓練器具など「良い人生は食から」家族や友人達と一緒に食卓を囲み、楽しく、おいしく、安全な食生活を送るようお手伝いします。家庭でできる簡単レシピの紹介、咀嚼や飲み込み、栄養の摂り方、口腔ケアについて相談をお受けします。

高知ふくし機器展の
情報随時更新中！

- ポスター発表募集！
- 医療託児あります！



セミナー

23金・24土 両日

◆福祉車両の選び方

時間：11時～12時
会場：研修室D
講師：日本福祉車両協会 本部講師 渡邊 祐司

自動車の運転は、自由への第一歩。あなたに合った運転補助装置で、人生の可能性を広げましょう。

◆安心安全な送迎

時間：14時～15時
会場：研修室D
講師：日本福祉車両協会 本部講師 渡邊 祐司

車椅子利用者が送迎車への乗車中に衝突事故などで死亡する事例が後を絶たない原因とは。

◆親元や施設からの地域移行

時間：14～15時
会場：研修室A
講師：CIL星空・事務局長 高橋 愛美
CIL星空 天目 章斗

障害者が自分らしく生活するためにはどうしたらいいの。自立生活センターの考えをもとに実体験を踏まえて、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。



申込はこちら

